

# ベトナム ヘリテージツーリズムによる辺境農漁村の生計多様化プロジェクト（2016年～2019年）



## 辺境地での観光開発のモデル創造！

### ■ 実施団体：

昭和女子大学

### ■ 対象国・地域：

ベトナム（ゲアン省ナムダン郡、コンクオン郡、クアンナム省チャム島）

### ■ 現地カウンターパート

ゲアン省（文化スポーツ）観光局  
ホイアン遺跡保存管理事務所

### ■ 協力内容：

- ・観光管理の住民グループ形成
- ・伝統集落や地域の文化を生かした観光プログラム形成
- ・地元資源を活用した土産物作り
- ・展示室、トイレ等インフラ整備
- ・地域マーケティング、PR活動

### ■ 団体のこれまでの取り組み：

- ・ホイアン街並み保存、世界遺産登録への協力を皮切りに、集落調査、全国民家調査等を実施（1992－1999）
- ・草の根技術協力パートナー型「ヘリテージツーリズムによる持続的な地域振興プロジェクト」実施（2011－2014）

### ■ 事業実施の背景：

ベトナムの農漁村地域では、伝統文化や地元特産品が豊富にあり、潜在的な観光資源が豊富である。一方、多くの観光客は知名度の高い観光地に集中するため、地元住民に裨益しにくい構造になっていた。農漁村地域の人々の生活水準を向上させるため、地域に潜在する資源を活用し、観光振興を通じて収入手段を多様化させる必要があったが、観光開発のノウハウを持っていなかった。



## 課題と成果

### 課題

辺境地域の農漁村を対象に、地域に潜在する資源（文化、自然、人的）を活用し、観光による人との交流を促すことで、地元の収入手段を多様化させる必要がある

### 成果

- ・地元資源や地場産業を活かした観光プログラムや広域ルートが開発された
- ・住民による観光実施体制が構築され、観光や土産物開発、地場産業振興のノウハウを得た
- ・住民の村への誇りが大きくなり、主に農業に従事していた女性が生き生きと観光に従事するようになった
- ・旅行会社6社と提携し、継続的な受入が可能となった
- ・住民の生計手段が多様化した

## 事業の波及効果



### 無名であったヌア村が全国的に知れ渡った！

- 村の暮らしとタイ族の文化が融合した観光プログラムが人々を魅了。プレスツアーの効果もあり、無名だったヌア村（ゲアン省）が全国的に知れ渡った。
- 近隣のケザン村が、ヌア村に倣い、ホームステイ、食事、踊り等のサービスを独自に開始、コンクオン郡の観光振興に貢献している。そして、ゲアン省より新規の観光地として選定、表彰された。